



朝十小だより

学校教育目標 意欲ある子・考える子・健やかな子
～ 豊かな学びで社会に向けて希望を持った児童がそろう学校～

朝霞市立朝霞第十小学校
発行日 令和7年8月29日
〒351-0023
朝霞市溝沼828-1
Tel 048-469-5443
在籍児童数 688名

大切な日を忘れない ～戦後80年～

校長 宮腰 高子

Ⅰ 学期終業式の式辞の内容を一部紹介します。

…長い休みの中には、大切な日もあります。その中から一つ紹介します。1,2年生にはちょっと難しいけれど、頑張って聞いてください。

8月6,9,15日は日本の歴史にとって、とても大切な日の一つです。昔、第二次世界大戦があり、日本も世界の国々と長く戦争をしていました。そして、8月6,9日に広島と長崎に大きな爆弾が落とされました。このことで何十万人もの人が亡くなったそうです。広島や長崎だけではなく。この戦争で沖縄や東京、そのほかいろいろなところで、沢山の命が奪われました。でも、反対に日本も相手の国の人たちの命を奪ったりひどいことをしたりしたとのことです。8月15日はその戦争が終わった日です。日本は戦争に負けました。食べるものも家も家族もない人が多く有り、残された人々は大変な思いをしながら過ごしました。今の日本は平和ですが、ここに至るまで、沢山の辛抱や知恵や努力や協力があって、今日の日本ができています。この事について、8月に入るとテレビ番組等で取り上げると思います。一つでも二つでも見てみると良いと思います。また、戦争中のことについて実際にお話を聞く機会や本を読む機会があったら是非逃さずにいてくれたらと思います。

長い夏休み、いろいろな出会いがあると思います。それは人であったり、動物や景色であったり、遠くに行ったから会えることであったり、すぐそばなのに気が付かなかったことであったり、いろいろな出会いから、頑張るエネルギーをもらえると良いです。

それでは、2学期にエネルギー一杯の元気な笑顔で会えることを楽しみにしています。

終業式後、職員から声をかけられました。ある職員は被爆地に隣接する県出身とのことでした。子供のころ、爆弾が投下された日は登校日で毎年学校に行き黙とうをささげていたと教えてくれました。また、ある職員は自分が祖母から聞いた戦時中の思い出をクラスの児童に話したそうです。図書担当の職員は当時のことに関係する本の紹介コーナーを作ってくれました。「ショックが大きくなり本を選びました。」とのことで配慮のある選定となっています。

また、夏休み中に児童のご家族の方からお電話をいただきました。「今まで話すことのなかった戦争中のことを伝えることができた。真剣に聞いてくれた。」とのことでした。家族の絆を深めるお役に立てたと思うとともに、「後につく者を後継者に見守り、支えてくださっている方が多くいらっしゃる。そのバトンをしっかりと受け継がなくては。」と思いました。

終業式の日には伝えることが多くあり、この話題に触れる間もなく児童を帰してしまうことが常だったのですが今年度は戦後80年の節目、思い切って話して良かったです。



当時のことを知る方は80台後半以降の年齢になられています。もちろん教職員の中には当時のことを知る者はいません。いないけれど使命感をもってよりよい未来をつくる力を持った児童を、未来に向けて希望を持った児童を育てていかなければと初心に帰らせていただきました。二学期もどうぞよろしくお願いいたします。